



# 隠岐世界ジオパーク新聞

平成26年11月号  
(通算 18 号)



## 湯村会議に参加してきました

お隣の山陰海岸ジオパークで10月25日に開催された国際学術会議「湯村会議」に参加しました。テーマは「ジオパークによる地域づくり」で、海外から講師を招いての招待講演と地域内での取り組みの発表、他地域のジオパークの取り組みの発表が行われました。マレーシアのキング博士からはジオパークというブランドの価値は、各地域のジオパークの質の高い取り組みの積み重ねによってこれから成長してゆくものなので、それを効率よく推進するためにも、ロゴマークの効果的な見せ方などのマーケティング戦略も重要だという趣旨の発表がありました。



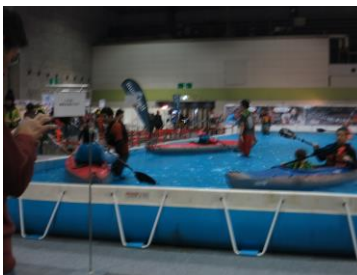
講演の様子

## モンベルフレンドフェア(大阪)

11月8日・9日は、インテックス大阪で「モンベルフレンドフェア2014秋」が開催されました。隠岐世界ジオパークは、今年からアウトドア用品ブランドのモンベルと提携して、シーカヤックや山歩きガイドなども宣伝しています。二日間で約7千人の来場者がありました。隠岐の認知度はまだ低いようです。来場者は、趣味を通して隠岐を知るので、他のイベントの時よりも関心が高く、ブースの前でパンフレットを手に、長く立ち止まって話を聞く方もよく見かけました。

### モンベルのコーナー

テント展示



シーカヤックの体験コーナー



### 隠岐ブース

鹿の角で黒曜石を割り、矢じりを作る体験(隠岐)



## レンジャー通信

### 「国立公園隠岐のビジョン(目標)策定中！」

環境省では指定50年を迎えた隠岐の国立公園について、改めて存在意義や地域での役割を明確にし、今後の目標や方針を定めたビジョンの策定に取り組んでいます。よりよいビジョンとするため、アンケート調査や意見交換会へのご協力・ご参加をお願いいたします。

### 「島後でサイクリングしませんか？」

11月30日(日)に隠岐の島町の西回り約40kmをサイクリングしながら巡る自然観察会を予定しています。詳しくは隠岐自然保護官事務所(08512-2-0149)まで。ご応募お待ちしております!!



アンケート調査の様子



サイクリング自然観察会イメージ

## 西郷文化祭での隠岐世界ジオパーククイズ大会

11月2日、隠岐島文化会館で開催された文化祭で隠岐世界ジオパーククイズ大会を行いました。子どもから大人まで41名が参加し、一問ごとの答え合わせに一喜一憂していました。中にはよく勉強していて、全問正解を目指すなど、子ども達の興味・関心を近くで感じることができました。

## 隠岐自然館特別展「島の森のものがたり」開催！ 隠岐の島町

隠岐自然館では、このたび次のとおり冬期特別展を行います。ぜひご来館ください。

【内容】隠岐の島町の面積の8割以上を占める森林で見ることのできる隠岐の魅力を紹介いたします。隠岐の樹木や枝の説明、森の生き物、木の実工作体験コーナー、植物写真展（初公開）など

【期間】平成26年12月1日（月）～平成26年12月26日（金）

【入館料】大人300円、小人（小学生）150円

【開館時間】午前8時30分～午後5時00分

【連絡先】隠岐自然館（隠岐の島町中町隠岐ポートプラザ2階）

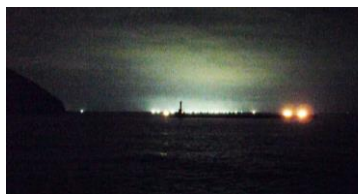
電話（08512）―2―1583



## 「秋めく日々と待ち遠しい風物詩」マルチワーカーの目から

海士町

秋が深まりつつある海士町では連日連夜、沖には煌々と海を照らす漁火が見え、各地の漁港ではイカを釣ろうと糸を垂らす釣り人と出会うことができます。しかし、今年は秋の訪れを告げてくれるはずの白イカの漁獲量が少ないうまに深まっていく秋に少なからず不安を感じています。マルチワーカーは繁忙期を迎える職場を季節とともに移ろいながら仕事をしています。その特性上、天気や気温、海水温などの自然環境が職場に思わぬ影響を及ぼし、今秋は特にイカが獲れないという現状を目の当たりにしています。やはり自然と関わる仕事なので人間の思い通りにはいかない難しさを感じます。自然が相手なのでしようがないなと思いつつ、忙しい秋を体験したいなと期待しながら日々働いています。



## 焼火神社の林道を歩きました！ 西ノ島町

西ノ島町

西ノ島ふるさと案内人は月に一回、勉強会を兼ねたミーティングを実施しています。11月10日は焼火神社の林道を歩きながら、自然観察をしました。この日、集まったガイドは9名。ワークシートを使いながら、紅葉しているカエデの種類の違い、北方系と南方系の植物が混在する様子、明治時代に壊された仏像の痕跡などを観察しました。みなさん探究心が強く、次々に質問や意見が飛び交います。ふだんは神社まで歩いて15分ほどしかかかりませんが、この日はなんと1時間半もかかりました。西ノ島ふるさと案内人は、このような観察会や知識の共有を通して、ガイドの質の向上に努めています。ミーティングの参加はどなたでも大歓迎です。興味のある方は西ノ島町観光協会までご連絡ください。



## 皆一踊り

知夫村

9月8日に郡（こおり）地区の一宮（いづくう）神社（天佐志比古命神社）において、「皆一踊り」が奉納されました。旧暦の8月15日に、家内安全、五穀豊穡を祈願して奉納されます。数人で円陣を作り、中央に太鼓打ちがおり、太鼓の音に合わせて、謡いながら扇子一本を持って踊る素朴な踊りです。昔は、各地区に皆一踊りがありました。今は、今では、仁夫（にぶ）地区のみに存続しています。いつの頃から伝わったか不明ですが、一説では、踊りの所作を見る限り、鎌倉時代または室町時代のものではないかといわれています。またこれに合わせ、

10月4日・5日の島根県庁前庭での「輝け11しまね町村フェスティバル」でも、皆一太鼓のみを発表し、知夫村の伝統芸能をPR



隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。

隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地（隠岐支庁3階 県民局内）

メール info@oki-geopark.jp

FAX (08512) 2-9626

☎ (08512) 2-9636

